

対策として、子どもを生き育てやすい環境づくりを進めるため、エンゼルプランを推進する。

町も、3才児までの医療費の無料化や、出産祝金の交付などの施策を他町村にさがしかけ実施すべきと考えるが。

答 長引く不況により、非常に厳しい財政状況であるため、新規の事業については十分検討し取り組んでいく必要があるが、高齢化社会が進むなか、出生率の低下は、社会的な問題なので前向きに検討していきたい。

冷夏による農業対策

問 今年の稲作は、冷夏によって全国的に大不作となった。町としてはどのような対策を考えているのか。また、水田の活性化対策は。

答 平成の大凶作とも言える冷夏、長雨等によって、農作物に被害を受けた農業者の経営の安定を図るため、災害資金の利子補給と種もみ購入代金の助成を検討している。農政審議会等にお諮りしたうえで、早期に実施したい。

今年の大凶作に伴い農林水産省は、水田営農活性化対策推進協議会を開き、平成6年、7年度の生産対策を決定し、転作目標面積や他用途利用米の生産予定数量等の都道府県配分を行っている。当町の転作配分面積は、

今年の181・6haから146haと35・6ha緩和されたので、安定した稲作経営のためにも評価すべきと考える。米の輸入問題など、農業を取り巻く情勢は一段と厳しさを増しているため、関係機関と十分協議しながら、今後の対応を図っていきたい。

未登記道路

問 上町地先の道路の中に個人名義の土地がある。早急に処理すべきでは。

答 町道として1120路線、距離にして388kmを管理しているが、他の道路にもこのような土地が残されており、現在の処理を進めているので、ご指摘のあった道路についても解決できるよう努力したい。

ゴミ処理問題

問 生ゴミの集積所が収集されないゴミで汚れがひどい。十分な管理方法はないのか。

答 生ゴミ等の可燃ゴミの収集処理は山武郡環境衛生事業振興組合で行っているが、決められた日時に指定の袋を利用することが原則であり、指定以外の袋やカンやビンなどの不燃物が混入していると回収されない。ゴミの出し方等については町も指導しているが、ゴミを出す方々がお互いに決められたルールを守ることで、解決できるも

のと考える。



学校教育

問 ①中学校の英語の授業に外国人講師を招き2年目となるがその効果は。②高校入試の志望校の選択についてはどのように対応しているのか。③中学校運動部への助成は十分か。

答 ①生きた英語教育を進めるため、昨年度から外国人講師を招き、週17時間の英会話を中心とした授業を行っている。学校からは、講師の熱心な指導で授業も充実し、確実に一人ひとりの英語力がついてきているとの報告を受けている。また、各学校へも週1回づつ派遣しているがたいへん好評である。②文部省から示された進路指導を基に、生徒や父兄と面接したうえで志望校の決定を図っている。

③今年には運動部の活躍が目覚ましく、全国大会や関東大会への出場を果たしているが、これら

の遠征費等についても、学校側や生徒の負担にならないよう助成している。



福祉ネットワーク事業

問 地域ぐるみ福祉ネットワーク事業の内容と老人保健福祉計画について伺いたい。

答 地域の中で問題を究明しながら福祉を進めていくことを基

本として、大総・横芝・上界の3地区で、民生委員や母子福祉推進委員の方々を中心に環境美化運動や給食サービス、独居老人への訪問、歳末助け合い運動等を実施していただいている。老人保健福祉計画については、